

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 ( 木戸 徹 )	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.0 億円
		通常砂防事業 下河川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟郡 安富町 名坂			18年度	18年度	21年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時の指定避難所である下河集会所及び(一)東河内安富線を保全する。	・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m , L = 90.0m) [負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2]

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	・下河川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・渓流勾配は約1 / 5と急で、渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 12戸、公共施設 = 下河集会所(避難所)、(一)東河内安富線(大型車迂回路無)、(一)名坂山崎線(迂回路無)、町道、田畑 = 0.72ha
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、地域の生活道路である(一)東河内安富線道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家12戸)、上流集落を結び大型車が唯一離合できる (一)東河内安富線、集落内唯一の道路である(一)名坂山崎線、及び災害時の指定避難所である下河集会所が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家12戸、災害時の指定避難所である下河集会所、(一)東河内安富線、(一)名坂山崎線及び町道がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、名坂地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。